

中目黒駅周辺地区整備計画改定素案に対する意見募集の実施結果について

1 意見募集の実施結果の概要

(1) 募集期間 平成30年10月15日(月)から 平成30年11月14日(水)まで

(2) 周知方法

ア 掲載場所

- ・めぐろ区報(平成30年10月15日号掲載)
- ・目黒区公式ホームページ(平成30年10月15日(月)より平成30年11月14日まで掲載)
- ・中目黒駅周辺地区街づくりニュース第12号(平成30年10月発行)

イ 閲覧場所

目黒区総合庁舎本館1階区政情報コーナー・6階地区整備課、各地区サービス事務所、菅刈・中目黒・烏森住区センター

ウ 住民説明会実施(平成30年11月5日)

(3) 住民説明会開催結果

日時・場所	周知方法	参加人数	意見件数
平成30年11月5日(月)午後7時00分～午後8時30分 目黒区総合庁舎2階大会議室	(2)と同じ	31人	16件

(4) 意見提出状況

ア 意見提出者

意見者	個人	議会	合計
提出者数	3	2	5

イ 意見件数

意見者	個人	議会	合計
意見件数	5	12	17

(5) 意見に対する対応区分の件数

対応区分	内容	件数	
		意見	説明会
1	ご意見の趣旨に沿い、計画案に反映します。	8	3
2	ご意見の趣旨は素案に取り上げており、その趣旨に沿って計画を推進します。	4	4
3	計画案には取り上げませんが、整備を行う中でご意見の趣旨に沿って努力します。	1	1
4	ご意見の趣旨は、今後の検討課題とします。	0	3
5	ご意見の趣旨に沿うことは困難です。	1	0
6	その他(関係機関・団体等に趣旨を伝達する、意見として取り上げないもの等、1から5のいずれにも該当しない場合)	3	5
合計		17	16

2 意見内容と検討結果

整理番号	枝番	区分	意見内容(要旨)	関係所管	対応区分	検討結果
1	01	個人	<p>基本コンセプトは、アートな雰囲気、ゆったり散策できる空間、街の人たちとの交流、クリエイターやアーティストたちと歩行者との交流・ふれあいの場づくりとするのがよいのではないかと考える。山手通りは交通の要所であり、活気あふれる街として良い点だと考えられる。一区画川べりに足を踏み入れたときには、憩いの場になっているという環境を、地域に定着させたいと考える。その軸になるのがアートだという考えである。</p> <p>具体的な取組として、アート作品を路上展示する、アートを通したコミュニケーションの場を創出してはどうか。クリエイターやアーティストだけでなく、アート展示に係わる飲食関係店舗の協賛を、働きかけられるのではないかと考える。中目黒駅周辺地区においては、既にアート活動を行っている会社 画廊経営者がいるため、彼らの協力を取り付けることで、実現可能になるものと考えている。</p>	地区整備課、文化・交流課	2	<p>改定素案においては、これからの街づくりの方向性の1つとして、「文化・芸術を通じて、人々のつながりが生まれる街づくり」を掲げています。また、5つのエリアごとの街づくりの方向性において、目黒川エリアについては、「創造・交流ゾーン」、「文化・芸術発信ゾーン」、「水辺・憩いゾーン」の3つのゾーンを設定しています。</p> <p>今後、これらの方向性に基づき、音楽やアートなどを活かした街づくりの取組を進めていきたいと考えています。</p>
2	01	個人	<p>都心一極集中の時代背景の中で、中目黒駅は都心アクセスを支える重要な交通要所になっていくと考えられる。そのため、目黒区として中目黒駅周辺地区の整備に力を注がれることは大変素晴らしいことと思う。区民にとっても周辺地区からの来訪者・利用者にとっても生活利便性が大きく向上する整備となることを希望する。</p>	地区整備課	2	<p>改定素案においては、5つのエリアごとの街づくりの方向性に掲げているように、駅前エリアにおいて、商業・業務・文化・交流等の複合的機能の集積を図ることをはじめとして、各エリアの特性に応じた様々な取組によって、にぎわいと生活利便性の創出につなげていきます。</p> <p>あわせて、山手通りの整備、駅前における歩行者の混雑緩和、自転車走行環境の整備などハード面の取組を行い、来街者にとっても安全・安心・快適に過ごせる街づくりを進めます。</p>
	02	個人	<p>目黒区は、世田谷区などと比べて歩道の整備が不十分だと感じる人が多い。世田谷区は歩道がタイルできれいに整備されていることが多い一方、目黒区は黒いコンクリートを継ぎ接ぎだらけでデコボコのままにしている道路が多い点が気になる。</p> <p>また、上目黒小学校前の「上目黒コミュニティ道路」は、緑色のタイルの剥がれを黒いコンクリートで埋めているだけで、非常に見た目が汚く感じる。せっかく一旦タイルを敷き詰めたのであれば、パッチワークで補修するのではなく、それをきれいに維持していただきたい。</p>	道路管理課、土木工事課	6	<p>区道の維持管理については、安全・安心な通行を確保するため道路維持修繕予算を踏まえ、より効果的・効率的な修繕による舗装の維持管理を行うことを目的に、目黒区道路舗装維持管理方針を定めています。この維持管理方針に基づき道路の利用状況に応じて専門業者による調査や、巡回点検及び区民要望を整理したうえで、「予防保全」・「日常保全」による維持管理に努めるとともに、修繕方法として、舗装状態に応じて応急修繕、局部修繕、全面修繕を適切に組み合わせて区道の維持管理を実施しています。</p> <p>また、ご指摘のコミュニティ道路については、工事完了後約20年を経過し、舗装タイルの確保が困難なことから、安全・安心な通行を最優先し、現状の舗装維持を行っています。今後、こうしたコミュニティ道路については、整備してきた経過を踏まえ、舗装材料の選定やあり方などを含め検討していきたいと考えています。</p>

整理番号	枝番	区分	意見内容(要旨)	関係所管	対応区分	検討結果
	03	個人	整備計画対象エリアの周辺地域との面的なつながりを向上させていただきたい。例えば、祐天寺駅周辺は中目黒駅から徒歩で10分ほどで行くことができるが、中目黒駅高架下に沿って歩いていくと途中で道が途切れ、住宅街になってしまう。祐天寺との面的なつながりがもう少し増えると歩いていて楽しい街になるのではないかと考える。また、祐天寺には老朽化し活用されなくなった民家や店舗建物が多くあることから、これらを上手に活用できるような規制緩和・条例等があれば、新規出店が活発になるなど、中目黒とともに発展していくことができるのではないかと考える。	地区整備課、都市整備課	2	改定素案では、代官山、目黒、大橋、祐天寺との広域的な連携による、地区全体としての魅力や活力の向上を、これからの街づくりの方向性の1つとして掲げています。駅南口側エリアを中心として、個性豊かな店舗の集積や情報発信により、祐天寺方面と連携した新たな人の呼び込みも図りたいと考えています。また、空き家・空き店舗の活用については、課題として引き続き検討していきます。
3	01	個人	「改定素案」を拝見し、精力的に中目黒の街づくりの調査・調整が進められていることが伝わって来た。丁寧な仕事に対して一住民として大変感謝している。 「第4章 推進施策」の「施策1(1)＜駅前エリア＞」について、「上目黒1丁目20、21番街区で進められている地域関係者による建築物の共同化」の交通基盤施設の整備の検討について、具体的な取組として、中目黒駅の二階部分から直結する改札の設置を検討することはできないか。中目黒駅の代官山方面への改札増設は、住民の長年の要望であったかと思う。 例えば、容積率を公共性の観点から少し緩和することを条件に、改札やエスカレーターなどの施設を設置する空間を東急に無償で賃貸するなどといったことができるなら、実現の芽も出てくるのではないかと。駅利用客が出勤や通学のために買い物をしてくれる可能性が高まり、商業施設としての付加価値が高まることから、Win-win の関係が築ける可能性があるかと考える。	地区整備課	3	ご指摘の駅前の混雑解消に向けた取組につきましては、高密度化した市街地においては、公共空間だけでは対応しきれないのが実情です。鉄道事業者はもとより、民間の土地利用の更新等の機会を捉えて、空間の創出や施設整備に協力を求めていく必要があります。具体化にあたっては、様々な分野にわたっての詳細な調査と検討が不可欠です。 ご提案については、今後、整備計画の実現に向けた取組の中で、ひとつの考え方として参考とさせていただきます。
4	01	議会	目黒川沿いの住環境の確保について、桜が開花している期間は、特に、沿道の居住者の安全安心が著しく妨げられる。観光による集客優先の立場ではなく、住環境の確保についても十分に配慮すること。	地区整備課、土木工事課、文化・交流課、産業経済・消費生活課	2	年々、目黒川の桜の開花時期には、来訪者が非常に多くなってきている状況の中、沿川の居住環境を守り育てるとともに来訪者が安心・安全に花見できるよう、目黒川桜まつり等運営協議会(平成24年12月設置)において改善に向けた取組みを進めています。今後も引き続き前年度の検証を行い、取組みを進めてまいります。
	02	議会	計画の対象地域である中目黒駅を中心とした500mエリアには、土砂災害警戒区域が8カ所も含まれていることから、地区の課題の中で記述すること。	地区整備課	1	ご意見の趣旨に沿い、P40施策2(3)の本文に追加します。

整理番号	枝番	区分	意見内容(要旨)	関係所管	対応区分	検討結果
	03	議会	集中豪雨による都市型水害などへの対応について、「蛇崩川と目黒川の75ミリ対応の促進」として明記すること。	土木工事課	6	豪雨対策については、東京都において総合的な治水対策を一層推進するため、「東京都豪雨対策基本方針」(平成26年6月改定)を策定し、さらに目黒川については、「目黒川流域河川整備計画」(平成30年4月策定)を策定していますので、これらの方針及び計画に基づいて取組を進めていきます。
	04	議会	防衛省跡地については、計画対象エリア外にはなるが、きわめて近接し、中目黒のまちづくりと地元の発展にとって不可欠であるので、課題として記述すること。	地区整備課	5	中目黒駅周辺地区整備計画の対象範囲は、中目黒駅を中心とした、概ね半径500mの地域としています。防衛省跡地については、対象範囲外であること及び山手通りや目黒川のような街づくりの軸から外れており、中目黒駅周辺の整備計画に直接影響しないため、整備計画には取り上げないものとします。
	05	議会	文化財包蔵地が計画の対象地域である中目黒駅を中心とした500mエリアに4カ所も含まれていることを記述すること。	生涯学習課	6	埋蔵文化財包蔵地については、文化財保護法に基づき所定の手続が義務付けられているため、整備計画では記述せず、文化財保護法で対応していきます。
5	01	議会	P4整備計画の位置づけ 関連計画・関連事業の枠に「目黒区観光ビジョン」を加筆すべきと考えるが如何か。 桜まつりなどの各種イベントや、個性的な店舗の出店、シェアサイクル事業の実施など中目黒と観光は切り離すことができないと考える。「等」で一括りするのではなく関連計画として出して頂きたい。	地区整備課	1	ご意見の趣旨を反映し、「目黒区観光ビジョン」を関連計画として4ページの「整備計画の位置づけ」図と、6ページの本文に追加します。
	02	議会	P6地区の位置づけ 下から4行目の「その他、…」から文章に「目黒区観光ビジョン(平成27年3月改定)」を加筆して頂きたい。理由は上記と同様にて参照。	地区整備課	1	ご意見の趣旨を反映し、「目黒区観光ビジョン」を関連計画として4ページの「整備計画の位置づけ」図と、6ページの本文に追加します。
	03	議会	P16(3)山手通りエリア 下から4行目の「自転車歩行者道」とあるが、表現がわかりにくいので用語説明などでわかりやすい解説を記載しては如何か。	地区整備課	1	ご意見の趣旨を反映し、後段の用語解説に追加します。

整理番号	枝番	区分	意見内容(要旨)	関係所管	対応区分	検討結果
	04	議会	P20(3)道路・交通 一項目「子どもから高齢者まで・・・」の中には、障害のある人も含まれていると解釈するが、バリアフリー化を進めていく観点から「子どもや高齢者、障害のある人」とした方がより明確になると考えるが如何か。	地区整備課	1	ご意見の趣旨を反映し、20ページ(3)道路・交通に係わる課題の1点目については、「子どもや高齢者、障害のある人まで安全・安心に地区内を移動できるようにするため」と記述します。
	05	議会	P20(3)道路・交通 三項目の「歩行者と自転車の事故などが危惧されます」とあるが、自転車走行マナー向上とともに、交通環境向上の記載も加筆して頂きたい。	地区整備課	1	ご意見の趣旨を反映し、20ページ(3)道路・交通の本文に追加します。
	06	議会	P37(2)ごみやタバコのポイ捨てなどの無い、街の美観を維持する<事業内容> 喫煙スペースの促進とあるが、中目黒GTの敷地内に設置された喫煙所は利用者が多く、タバコの煙で不快な思いをされている人も多い。こうしたことも課題であるが特に触れられていないので、受動喫煙防止対策の記載も加筆して頂きたい。	地区整備課	1	ご意見の趣旨を反映し、37ページ(2)の本文に追加します。
	07	議会	P40(1)暮らしを支える環境整備を推進する 住環境と商業・業務環境の調和・共存が課題であり、その対策として、土地利用のあり方検討や、「なかめスタイル」の普及・実践を掲げているが、イベントや個性的な店舗などを訪れる人々のマナー違反による地域住民とのトラブルが顕在化している。最近、ハロウィンで渋谷区の対応がクローズアップされていたが、ルール無視、マナー違反により、いずれ大きな事件・事故が発生した場合、行政の責任を問われかねない。本来、ルールで縛ることは本意ではないが、関係機関と協議の上、条例によるルール化などを検討していく必要があると考えるが如何か。 また、訪日外国人によるトラブルも顕在化しているが、課題として具体的な記載がない。こうした訪日外国人へのルール啓発など対策を講じる必要があると考えるが如何か。	地区整備課、 環境保全課、 道路管理課、 土木工事課、 文化・交流課、 産業経済・消費生活課	1	ご指摘のとおり、「なかめスタイル」にうたう”街で暮らす人、訪れる人、すべての人びとの自覚を促し、主体性を育むことでマナーが守られ魅力的な街をめざす”の実現には、一定の時間が必要です。一方で、イベントなどに伴うマナー違反等によるトラブルの顕在化に対しては、早急な対応が求められています。イベントの主催者や店舗運営者、関係機関とも連携を図りながら、対策を検討します。

3 住民説明会での意見内容と検討結果

整理番号	枝番	区分	意見(要旨)	関係所管	対応区分	検討結果
1	01	住民説明会	素案についての説明を聞き、大変頼もしく、素晴らしい計画だと感じた。今回の整備計画では、中目黒と代官山とのつながりが方針として出されており、非常に嬉しく、期待できると感じた。 バリアフリーについても触れられており、よいと思った。	地区整備課	6	改定素案を評価いただきありがとうございます。今後、整備計画の実現に向けた取組に努めていきます。
	02	住民説明会	中目黒駅周辺においても、多くの外国人観光客が訪れているが、中目黒の魅力的な場所をPRできていないように思う。外国語で手作りのマップを作成するなど、個人的な取組は行われているが、区としてはどのような取組を考えているのか。外国人観光客が増加すると、マナーが守られないのではという声もあるようだが、多言語化するだけでなく、情報の中身を外国人にも理解できるものにする事で、マナーは守っていただけるものと考え。	地区整備課、文化・交流課	1	現在、桜の開花時期をはじめ、中目黒には多くの外国人観光客が訪れています。区としては、例えば、イベント時に4か国語での情報発信等の取組を行っています。今後は、さらに訪日外国人旅行者等に対してどのような取組を行っていくか検討していきます。
2	01	住民説明会	目黒川は地域にとって非常に貴重な財産だが、きれいとは言えない状態であることから、水質浄化に取り組んでいただきたい。目黒川の駒沢通りから五反田方面にかけての景色は素晴らしい資源であり、これからも地域全体で守っていききたいという思いである。	土木工事課	2	区では、目黒川の臭気対策として、都と連携しながら、川底を平らにして水の流れを良くする工事や、ヘドロの浚渫を行っています。また、平成7年度より清流復活事業として下水道の高度処理水が導水され、ある程度水質改善が進みました。しかし、区民からは、まだまだ臭気に対する改善要望が来ております。 そこで、平成21年度より隣接区と連携して高濃度酸素水を導水する実験や、平成28・29年度には改善材を用いた水質改善実験を行いました。 現在は、都と流域区の世田谷区、品川区、目黒区にて評価委員会を設置し、これまでの実験結果を評価するとともに、その評価結果に基づいて水質浄化に取り組んで行く予定です。
	02	住民説明会	インバウンドについて、中目黒の魅力的なエリアをアートと結びつけて外国人の方々にPRしていけるとよいのではないかと考えている。今回の計画では、アートが1つのテーマになっていることは大変期待できる。関係するいろいろな方の知恵を集めて、ぜひ取組を進めてほしい。	地区整備課、文化・交流課	1	整備計画素案を作成する上でのヒアリング調査等を通じて、中目黒駅周辺地区には、アートに係わる取組を行っている、あるいは、今後行いたいと考えている企業や個人が多くいらっしゃるのことがわかりました。区としてもこうした方々と連携しながら、まちの魅力を高めるとともに、その魅力を訪日外国人旅行者にも伝えていきたいと考えています。

整理番号	枝番	区分	意見(要旨)	関係所管	対応区分	検討結果
2	03	住民説明会	インバウンドについて、他自治体では、外国人が持つて歩く多言語の地図を作成し、無料で配布しているところがある。目黒区でもこのような取組が必要ではないか。外国人観光客のマナーについては、地域側が清掃活動等を通じてまちをきれいに保っていることをアピールすることで、自然に守られるのではないかと思う。外国人観光客を案内するガイドも、マナーを伝える役割を担えるのではないか。	地区整備課、文化・交流課	1	ご指摘の訪日外国人旅行者への取組については、多言語対応の地図作成等、快適な環境整備に向け、今後検討していきたいと考えています。 マナーを守る雰囲気づくりという点については、町会、住区住民会議、商店会、民間事業者等の皆様によって、既に清掃活動など様々な取組が行われています。これらの取組については、ぜひ多くの方々に知っていただきたいという思いから、「なかめスタイル」のSNS(Facebook、Instagram等)を立ち上げて情報発信を始めています。新たな取組だけでなく、既に行われている地域活動についても周知を図ることで、住民・来街者・事業者の皆さんでマナーを守っていくという良い雰囲気づくりにつなげられるのではないかと考えていますので、今後も引き続き情報発信に取り組んでいきます。
3	01	住民説明会	駅前エリアにおいて、地域住民による建築物の共同化が検討されているということだが、これは決定事項なのかどうかお伺いしたい。	地区整備課	6	整備計画P15等に記載しています上目黒1丁目20、21番街区については、地域関係者の方々が、平成29年9月より、目黒区地域街づくり条例に基づく街づくり研究会を立ち上げ、現在、どのような街づくりを進めていくか検討している段階です。
	02	住民説明会	上目黒3丁目内の街区について、再開発等の動きはあるのか。	地区整備課	6	上目黒3丁目内の街区について、現時点では区として再開発等の動きは把握しておりません。今後、区の支援等が必要な場合は、対応してまいりたいと考えています。
4	01	住民説明会	目切坂の工事について、東京音楽大学の開校に向けて、道路の拡幅等の整備が進められるとのことだが、今後、無電柱化する予定はあるのか。また、東京音楽大学側のガードレールについて、周辺店舗への動線等にも関わることから、設置位置などについてお聞かせいただきたい。	土木工事課	6	目切坂の電柱につきましては、道路整備に合わせて設置位置の見直しが行われる予定ですが、無電柱化までは行いません。目切坂については、現在、ガードパイプの設置など安全対策の取組みも含め、道路整備を行っているところです。
	02	住民説明会	中目黒駅について、現時点でも山手通り横断歩道周辺に多くの方が滞留している。今後、東京音楽大学が開校することによって、学生の駅利用が増え、駅前のさらなる混雑が予想される。何か対策は行われるのか。	地区整備課	2	東京都において、山手通りの拡幅工事に合わせた駅前横断歩道の拡幅を予定していると聞いております。なお、東京音楽大学からは、代官山駅からの利用も考えられることや、個別指導が多いため特定の時間に学生の駅利用が集中することはないと聞いております。
5	01	住民説明会	山手通りをはじめ、歩道の表面舗装がガタガタになっている箇所が多く、段差もあり、特にベビーカーを押して歩きづらい状況になっている。中目黒は歩いて楽しめるまちなので、歩きやすい歩道の整備をお願いしたい。山手通りの拡幅工事については、道路拡幅のみで歩道の整備は行われない予定なのか。	土木工事課	6	山手通りについては、現在、東京都が拡幅整備工事を進めております。具体的には、無電柱化や歩道幅を広げるとともに自転車歩行者道も整備し、バリアフリーに配慮した整備を進めていると聞いております。

整理番号	枝番	区分	意見(要旨)	関係所管	対応区分	検討結果
6	01	住民説明会	住民や外国人を含めた来街者が増えることは、地域の活性化にとって良いことではあると思うものの、災害時の避難等について不安がある。避難場所等について、看板を設置するなどして、住民だけでなく、来街者に対しても適切な情報提供を行うとともに、特に乗降客数の多い中目黒駅においては、帰宅困難者への対応も必要ではないか。	防災課	4	地震や水害等を想定した対策については、区としても強化を図る必要があると考えています。帰宅困難者への対応についても、対策会議を立ち上げ検討を進めています。 訪日外国人旅行者等の避難については、避難誘導看板等の設置の推進、多言語化、ピクトグラムなどを活用した言語によらない誰にでもわかりやすい表現を含め、検討が必要と考えています。
7	01	住民説明会	目黒川と駒沢通りが交差する地点においては、一度山手通りを迂回しなければ駒沢通りを横断できないようになっている。歩道橋は整備されているものの、バリアフリーの観点や、目黒方面との連携という観点からは課題と考えられるのではないかと。道路整備の管轄といった問題もあろうかと思うので、必要に応じて区から要望を挙げていただけるとよいのではないかと。	地区整備課	4	ご指摘の横断歩道施設については、東京都が設置しておりますので、いただいたご意見は伝えてまいります。
8	01	住民説明会	再開発が進む渋谷や代官山など、近隣地域との関係性を考える上で、目黒川は非常に重要な位置づけにあるものと思われる。この目黒川について、調節池の整備や改修工事等、様々な整備が行われているものの、一方で近年は豪雨災害も頻発しており、近隣住民としては水害の不安がある。目黒川の場合、現時点でどの程度の雨量に耐えられる想定なのか。	土木工事課	2	目黒川については、現在1時間当たり概ね50ミリ規模の降雨に対応できるよう整備されていますが、より一層の治水安全度の向上を図るため、船入場や荏原に大規模な調節池も整備されています。 また、東京都は、平成30年4月に「目黒川流域河川整備計画」を策定し、調節池や流域の対策も含めて、1時間当たり75ミリ規模の降雨に対応できるよう整備することとしております。区では、流域区の世田谷区・品川区と連携して早期の整備を都へ要望しております。
	02	住民説明会	他地域では、大型台風の際、ビル風によって車両が横転するなどの被害が生じたと聞いている。中目黒駅周辺においても、高層ビルばかりが建設される状況が本当によいのかという疑問がある。	地区整備課	3	一定規模以上の事業で、周辺の土地利用状況や建物状況により風環境への影響が予想される場合は、東京都の環境影響評価条例において設計段階でビル風の検討を行うこととなっております。
	03	住民説明会	武蔵小杉では、高層マンション等が建設され、人口が急増するとともに、駅の混雑が発生するなどの問題も起きていると聞いている。開発等を行う際には、駅や道路等のキャパシティを考慮して進めていただきたい。	地区整備課	4	いただいたご意見を踏まえて、今後検討していきたいと考えています。
	04	住民説明会	目黒川の桜について、木によっては枝の枯れているものも見受けられるようである。折角の桜並木なので、枯れ枝を伐採するなどの整備を行っていただきたい。	みどり公園課	2	目黒川の桜については、整備計画39ページにも掲載しているとおり、めぐろサクラ再生プロジェクトを推進しており、平成27年度に樹木医による診断を行い、平成29年度に地域の皆様と検討を行い目黒川サクラ再生実行計画を策定いたしました。目黒川の桜は地域のシンボルであることから、今後も引き続き、適切な管理を行っていきたくと考えています。